



否確認を行い、どのよう

な支援ができるか検討してきました。

命の危険を感じ、退

全を保護することを決定いたしました。同時に、必要に応じて修了生の家族も受入れ、資金面での援助も実施いたします。

一時的な受入の目処は立ったとはいえ、ほぼ身一つでの国外への移動となります。

